

まちの日記帳



迫力の公演「人形劇鑑賞会」 —保育所・子育て支援センター—

3/4

びくに保育所ホールで人形劇鑑賞会が開催され、びくに・みなと保育所の園児と、子育て支援センターを利用する親子合計44人が参加しました。

人形劇団「グ・いぶた」（札幌市南区）のみなさんによる人形劇「だるまちゃんとてんぐちゃん」や「ボードゲーム」「はりぺこあおむし」など合計5演目、約1時間の迫力ある公演を子どもたちは、終始ボードゲーム「はりぺこあおむし」など合計5演目、約1時間の迫力ある公演を子どもたちは、終始ボードゲーム「はりぺこあおむし」など合計5演目、約1時間の迫力ある公演を子どもたちは、終始

森と川と海の関わりを学ぶ活動を目的とする森・海HUGくみたいの活動として、余別小学校児童を対象に冬の自然体験学習が行われました。

この日は、グリーンコーディネーターで全道でも数少ない「樹木医」の橋場一行氏を講師に、樹木の健康状態の見分け方や、樹木に寄生する微生物の役割などの学習を行いました。

内山賞は、後志管内の優れたまちづくり活動を推奨することを目指す個人や団体に対し平成3年度から表彰を行っています。

◆ 小学校1～3年生男女混同
◆ 中学校3～6年生男女混同
◆ 長島真太郎くん（婦美町）
◆ 杉野弘幸くん（日向町）
◆ 小学校3～6年生男女混同
◆ 中学校1～3年生男女混同
◆ 永坂優人くん（美國町）
◆ 井平忠行さん（美國町）
◆ 一般スワップ男女混合ダブルス
森本秀夫・成田公子ペア



冬の「げんきの森」を探検しよう —冬の樹木、冬芽と観察—

3/5

やんばる小道づくり推進 協議会が内山賞受賞

3/5

第14回内山賞（団体の部）に、積丹町美國鯨場やんばる小道づくり推進協議会（成田静宏会長）が選ばれ、町総合文化センターで受賞記念講演会が行われました。

内山賞は、後志管内の優れたまちづくり活動を推奨することを目指す個人や団体に対し平成3年度から表彰を行っています。

◆ 小学校1～3年生男女混同
◆ 中学校3～6年生男女混同
◆ 長島真太郎くん（婦美町）
◆ 杉野弘幸くん（日向町）
◆ 小学校3～6年生男女混同
◆ 中学校1～3年生男女混同
◆ 永坂優人くん（美國町）
◆ 井平忠行さん（美國町）
◆ 一般スワップ男女混合ダブルス
森本秀夫・成田公子ペア

勝利へスマッシュ! 町内卓球大会

3/7



Diary of Shakotan

**美國中学校1年生が
社会貢献ボランティア**
—町総合文化センター窓拭きやさぎ訪問— 3/17



美國中学校の1年生26人は、総合的な学習の時間を利用して町総合文化センターでの窓拭き清掃ボランティアとやすらぎでの高齢者との世代間交流を行いました。

昨年度から引き続き、2回目の文化センターの窓拭きに参加したのは12人で、図書コーナーや多目的室などの大型のガラス約100枚を一枚一枚丁寧に磨き、約2時間の清掃に汗を流しました。



やすらぎを訪れた14人は、施設を利用する約20人の高齢者と、生徒たちが考えたりハッピリ運動を取

り遊び、歌などで交流を図りました。交流会は、笑いが絶えず終始和やかで、最後に生徒を代表して海老江聖也くん（余別町）が、「皆さん笑顔から逆に元気をもらいました」とあいさつし、安田町社会福祉協議会事務局長からは、「もっと学校との交流の機会を作りたい」と今後の継続拡大に期待を寄せていました。

遊び、歌などで交流を図りました。交流会は、笑いが絶えず終始和やかで、最後に生徒を代表して海老江聖也くん（余別町）が、「皆さん笑顔から逆に元気をもらいました」とあいさつし、安田町社会福祉協議会事務局長からは、「もっと学校との交流の機会を作りたい」と今後の継続拡大に期待を寄せていました。

大盛況…どっこいシヤー！
—自然体験や郷土芸能を披露— 3/20・21



午前11時頃、婦美会館に到着したツアー参加者は、かんじきを履いての雪上散歩や白樺の樹液採取など、大自然での自然体験をたっぷりと楽しみ、昼食には浜鍋を堪能しました。

午前11時頃、婦美会館に到着したツアー参加者は、かんじきを履いての雪上散歩や白樺の樹液採取など、大自然での自然体験をたっぷりと楽しみ、昼食には浜鍋を堪能しました。

帰りには活アツビなどのお土産もあるなど、盛りだくさんの内容となつた今回のツアーは、アンケートの結果からも「大満足」との声が多く聞かれ、今後のツアー商品化に向けて、手ごたえを感じられました。

実行委員会の事務局を務める積丹観光協会では、「参加者のニーズに対応し、さらに満足してもらえるような企画にしていきたい。」と来年度の開催に意欲を見せていました。

